

2021年6月吉日
株式会社住化分析センター

「オートパッチクランプシステムを用いた心筋イオンチャネル評価」
チャネル評価の追加のお知らせ

株式会社住化分析センターは、オートパッチクランプシステムを用いた心筋 hERG チャネル評価の受託を2020年4月より開始いたしておりますが、このたび、本評価に加え、Na チャネル (Nav1.5)、Ca チャネル (Cav1.2) の評価を追加しました。これにより、迅速、高品質、適正価格での心筋マルチイオンチャネルの評価体制が国内自社ラボラトリーで整いましたので、お知らせいたします。

FDA が主導する Comprehensive in vitro Proarrhythmia Assay (CiPA) では、創薬候補化合物について、hERG チャネルを含めた各種イオンチャネルアッセイを実施し、得られたデータを in silico で評価することによって、総合的な不整脈作用を予測することが提案されています。これに対応し、創薬初期の段階で心筋 hERG チャネルに加え、Nav1.5/Cav1.2 チャネルへの影響をハイスループットで評価することは、研究開発期間を短縮させ、創薬の成功確度を向上させる上で大きな意義があります。

当社は、ハイスループット性において最上位機種である Sophion Bioscience 社製 Qube 384 を導入しております。社内実施からの切り替え、新たな外部委託先として、是非ご検討ください。

Qube 384 とは

ハイスループット用に開発された最新の全自動パッチクランプシステムで、マニュアルパッチクランプと非常に近いホールセルクランプ状態で、イオンチャネル電流を測定することができます。Qube 専用の測定プレート (QChip 384) を使用することでギガシール形成による膜電位固定を行うことができ、1測定あたり 384 ウェルの高品質なデータを一度に取得することが可能です。また、実験の目的に合わせてシングルあるいはマルチホールを選択することも可能です。

サービスの詳細：

<https://www.scas.co.jp/services/lifescience/pharmaceuticals/drug-discovery-screening/autopatch.html>

お問い合わせ先：

株式会社住化分析センター クライアントサービス本部

医薬事業部（東京） TEL 03-5689-1217

医薬事業部（大阪） TEL 06-6202-1801

E-mail : Hiyakumarketing1@scas.co.jp